



# かわせみ通信

5月号  
2020年5月  
Vol.129

発行所 株式会社 東海テクノ 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号(〒510-0023)  
TEL.059-332-5122(代) <https://www.tokai-techno.co.jp>

## 南伊勢町に地下海水を使ったスジアオノリの陸上養殖工場が完成

地下海水を使ったスジアオノリの陸上養殖事業を行うため、当社が新たに三重県度会郡南伊勢町に設立した「株式会社南伊勢マリンバイオ(以下MMB)」の工場が完成しましたので、今回はそのご報告を兼ねた特集でお届けします。

MMBは、2018年9月から(株)東海テクノ内で基礎的な検討・研究を開始し、南伊勢町役場と三重外湾漁業協同組合のご支援、納入メーカーのご協力のもと無事に工場完成に至りました。地元の方を中心に社員採用を行い、当面11名体制で稼働いたします。5月には実機で諸々の試運転を行い、6月より本格稼働の予定で、年間4t(乾燥重量)の出荷を目指します。スジアオノリは、大半が四国の吉野川を中心とした海面養殖で生産されており、先行する陸上養殖での生産量を加えても、総生産量は最盛期の1/4~1/3程度まで落ち込み、年間50t以下にまで減少しています。MMBが使用している高知大学の特許「胞子集塊化法」を使っただけの陸上養殖は、海面養殖とは異なり栄養等を自社コントロールできる利点がある一方、気候変動対応型ビジネスであるため本来20℃前後でしか成長できないノリから、真夏の30℃ぐ

らいになる水槽中で成長可能な『種』が作れるかどうかビジネスの根幹となります。MMB独自の『種』が今夏に高水温の水槽で成長してくれるかどうか不安ですが、その反面“生き物を扱う工場”としての面白さもあり、今までの環境分析・製品分析



MINAMIISE MARINE BIO 【株式会社 南伊勢マリンバイオ】	
所在地	三重県度会郡南伊勢町田曾浦4722番42
代表者	代表取締役 田中 正廣
資本金	10百万円
建築面積	敷地面積：8,582㎡ 養殖場面積：4,550㎡
竣工	2020年4月(出荷開始 2020年6月予定)
生産品目	スジアオノリ
生産能力	4,000kg/年(パルク出荷)

事業とは違ったモチベーションとなっています。研究者や担当社員が“この子らは…”と擬人化して話していることも楽しい気付きです。今後は長年培ってきた化学・バイオの分析技術や種々のデータの計測技術を応用して、地下海水の水質・水温や気温・日射量といった季節変動を数値化していきたいと考えています。現工場での生産量は年間4tですが、近隣地区の方に陸上養殖に興味を持っていただき、同じように工場経営してもらおうことで年間10tを出荷できるようになれば、黒ノリ・アオサに次ぐ三重県の第三のノリ事業になると期待しております。

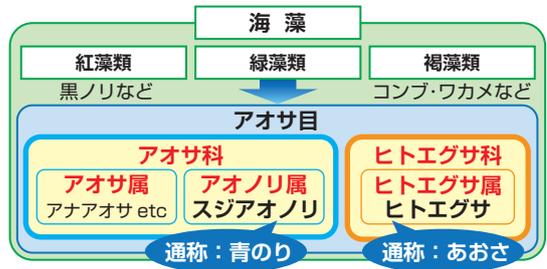
最後に余談として、「スジアオノリ」は昨年未の徳島での初競りで60,000円/kg弱の高値を付けましたが、平均的な単価でも25,000円~30,000円/kgと黒ノリの4~5倍の高級品となっています。他のノリに比べ香りが非常に良いため、その香りを楽しむ食品やお菓子業界からの需要が高いです。雑煮やお粥を食べる直前に振りかけると、その香りを存分に味わえるので病みつきになります。汁物に対しては食感に優れたアオサに軍配が上がるので、向き不向きがあるようです。



### 1. 「あおさ」と「青のり」は同じもの?

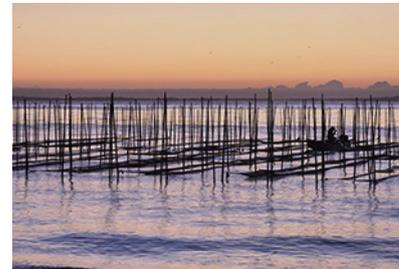
鳥羽志摩地域で海面養殖されている「あおさ」は、「アオサ目ヒトエグサ」であり、MMBで生産するスジアオノリとは、まったくの別物なんだ。「あおさ」はアオサノリとも言われるけど、「青のり」ではないんだよ。「あおさ」は味噌汁などに入れて「見た目(緑)」と“食感”を楽しむけれど、スジアオノリは非常に良い香りがあるからなんだ。三重県のアオサの生産量は年間約500tで全国ダントツ1位(約6~7割のシェア)を誇っていて、黒ノリとともに三重県の水産業を支えているけど、スジアオノリの海面養殖の研究も

数年前から行われていて、自然のものに合わせて年間200~300kg程度は取れているんだよ。



### 2. 黒ノリの生産量が激減している原因は温暖化?

黒ノリもスジアオノリも近年は生産量が激減しているんだ。(黒ノリ:ピーク時の60%、スジアオノリ:30年前の25%)。そもそもノリは海水温が20℃ぐらいい下ってから芽を出し成長が始まるけど、最近は海水温が下がるのが遅くなっていて、種付けしたローブを海面に張り出す時期が遅れ、育成期間が短くなり生産量減少の原因となっているよ。熊本や長崎では、海水温の上昇で亜熱帯の魚が沿岸まで来て黒ノリを食べてしまう被害の被害も深刻になってきているよ。また別の要因として、環境対策・下水整備によって川から流れ込む栄養分(窒素、リン)が減ったこともノリの成長に影響を与えているようなんだ。



岡山や熊本では、栄養供給のために下水処理場放流水の窒素・リン濃度を夏の終わりから「基準値ぎりぎりまで上げて放流する」という取り組みもされているよ。

### 社員プチコラム

**岩尾 良祐**(環境事業本部 松阪分析センター センター長)  
松阪分析センターでの勤務も5月で3年目を迎え、中勢・南勢地区のお客様のところにも迷わずに行けるようになりましたので、機会を見てお伺いしていきたいと思っております。最近ではコロナウィルス感染拡大防止のため、予定していた家族旅行も延期するなど外出自粛の中で、久しぶりに家庭菜園をすることにしました。と言ってもプランターでトマトときゅうりを育てる程度で、自宅待機の子供も水やりなど世話をしてくれています。順調に成長して実がなる頃には取まっていることを願うばかりです。



### 編集後記

都道府県公式観光情報サイト閲覧者数ランキングで「観光三重」が今年、全国1位になったことはご存知ですか?コロナ禍の影響は計り知れず、そんな「観光三重」HPでは三重県の生産者様を応援するページが組まれています。伊勢海老に牡蠣、伊勢木綿で作られたマスクなど魅力ある商品ばかりです。ぜひチェックしてみてください。#コロナに負けるな!(みっちゃん)

